

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

## 2016(28)年 週 報

11月6日

「クリスチャンの戦い」

第1聖日

第3480号

聖  
言

終りに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。

エペソ6:10

主の弟子となる<sup>20</sup>

第三課 基本原則 鍵となる引用を読んで考えましょう  
初代教会のクリスチャンたちは、どのように生きるか  
に関する新約聖書の教えは、古い契約において神の民に  
与えられていた教えの継続であり、完成であると考えて  
いました。イエスが来られたことで、私たちは旧約聖書  
の時代よりも神のみ旨にかなった生きることができると  
うにされたのです。C H ドットは G o s p e l a n d  
L a w (真理と律法) という聖書の中で、新約聖書の多  
くが一定の型、まず、救いの真理の教えが来て、次に、  
それに基づく実践についての解説が来る、という型に従  
って書かれていると述べています。書籍にはクリストの  
みわざに関する教えから始まり、クリスチャンとしてい  
かに生活すべきか、という教えで終わっているものが結  
構あります。ローマ人への手紙、ガラテヤ人への手紙、  
エペソ人への手紙、ペテロの手紙第一がそうです。；「ケ  
リユグマ(良い知らせの告知)」とそれに続く信仰の本  
質に関する教えと、「デイダケ(生活の実際的な教え)」  
を提示している聖書箇所とはすぐに見分けがつけます。

(C-I-B-T-E主の弟子より)

祈りのお願

教会の後継者が与えられるように

神学生があたえられるように

一つ心になって互いに従順に神と人々に仕えるように

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

[minoru\\_yamamoto@hotmail.co.jp](mailto:minoru_yamamoto@hotmail.co.jp) メール [m7-inoru@ezweb.ne.jp](mailto:m7-inoru@ezweb.ne.jp)

「現代の奴隷と主人」

「奴隷たちよ。あなたがたは、キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上に主人に従いなさい。」(エペソ六ノ五)

ここまでのパウロは、神の家族の秩序について述べてきたが、ここでその領域を広げ、新しい神の国の社会秩序についての勧めを行っている。五節の「奴隷」ということばは、「僕」とも訳される語でおなじことばが六節ではキリストの「僕」と訳されている。一世紀後半においては、膨大なしもべ「労働者」も観念的にはあまり違いはなかったようである。当時ローマ帝国内には、膨大な数の奴隷がいたと伝えられている。したがって、パウロがそうした歴史的状况をその中に反映していることは当然である。奴隷に関する言及が聖書に中にあることから、聖書が奴隷制度を肯定していると言って批判する人がいる。しかし、歴史的事実も考慮に入れなければならないだろう。主イエス・キリストの福音は、前述のように、ローマ帝国の影響下にあった国に始まり、半世紀もたたないうちに首都ローマにも及んだ。その福音の宣教のために「福音の囚人」となっているパウロが今、キリストの恵みにあずかった、社会の底辺にいる労働者に呼びかけたのである。パウロは、かつてキリストの教会を荒らし、壊滅させようとしたように、今ローマ帝国の体制をくつがえそうとしているのではない。彼は福音によって神の国が実現することを信じていたのである。主キリスト・イエス、の福音は「捕らわれ人には赦免を・・・しいたげられた人々に自由にし、主の恵みの年を告げ知らせ」た。これはすでに私たちが「聞いたとおり実現した」のである(ルカ4・18)。新しい秩序が徹底されなければならない。神の民はみな主の囚人であり、またの真のいみでの自由人である。そこにはもはや、しもべでもなければ主人でもない。ただあるのはキリストを長子とした兄弟関係である。したがって、しもべは常に「人にではな

く、主に仕えるように、善意をもって仕え」(一節)。キリストのしもべとして神のみこころを実践するのである。

パロの支配のもとで奴隷となっていたイスラエルの民のエジプト脱出は、ただ単に苛酷な労働からの脱出だけではなかった。

それは、彼らが本来のあり方に戻り、主なる神に仕える民となるためだったのである。主はモーセに言われた。「あなたが民をエジプトから導き出すとき、あなたがたは、この山で、神に仕えなければならない。」(出3・12)。神の国に属する者は社会的な地位や立場に縛られることはない。「主は人を差別されることはない」(九節)からである。

クリスチャンは神の奴隷です。エジプトのパロの奴隷からモーセによって、解放されたように、クリスチャンは罪の奴隷でしたが、イエス様の血潮により解放されて、義の奴隷、神の奴隷となりました。ブラック企業で過労死というのが起こります。

奴隷のように働かされるのです。裁判で企業を処罰しても後をたちません。雇用者も被雇用者も信頼関係はなくなっているのです。しかし、クリスチャンは、主人が悪くても喜んで仕えるのです。日曜には礼拝にき、生き生きとひと働く姿に感激して主人は変えられるのです。奴隷は主人を救うために神から遣わされたのです。奴隷は福音の塊なのです。奴隷でしか、主人に近づけないのです。そこで福音を伝えるのです。聖霊にみたまされ、キリストの奴隷として、キリストの花嫁としての喜びがあるからできるのです。

二〇一六年一月二日午後六時半 祈祷会 山本稔牧師

「主に立ち帰れ」ホセア七章

「彼らのむなししいものに立ち返る。彼らはたるんだ弓のようだ。彼ら首長たちは、神をののしつたために、剣に倒れる。これはエジプトの国であざけりとなる。」(ホセア七ノ一六)

黙想

イスラエルの現状はどのようなであり、彼らがこれほど深刻な状況に至った原因は何でしょう。

適用

神は、あなたと共同体の現状をどのように見ておられるでしょうか。

神は私たちの罪をいやすことを願われます。イスラエルは「燃えるかまど」のように罪の情欲が冷めず、「生焼けのパン菓子」のように使道のない存在です。また、「思慮のない鳩」のようにエジプトとアッシリヤに助けを求めて自滅しますが、「たるんだ弓」のようにかみではなく欲に心を奪われます。彼らがいやされるためには、神のためとして自分がどれほど汚れ、変質してしまったのかを悟らなければなりません。みことばによって自分自身の信仰と生活を顧み、主のいやしの御手を切に求めるときにのみ、回復があります。

中国語のみ言葉

レイシユ カ ウエイモン

人 是 看 外 貌

(人とはうわべを見るが)

イエフアクワアシユネイシン

耶 和 是 内 心

(主は心を見る)

撒母耳記上十六章七節

(第一サムエル)

ウアイカオシエン

我 倚 靠 神

(私は神に信頼しています。)

ピウ チュハ

必 不 惧 怕

(それゆえ、恐れません。)

センナンパアウアツエン ムアヤンニ

人 能 把 我 怎 么 杵 呢

(人が、私に何をなしえましよう。)

詩篇五六章十一節

中国語の賛美

ワヨーシヤンシンモンモー ワデイ パークソンハイライ

ワデイ パーゴ シトイエ ヤファア

カーヨン ダルヨゴスンジヨ アーメン

ワヨーシヤンシンモンモー

我 要 向 山 举 目

(私は山に向かって目を上げる。)

ワデイ パーク ソンハイライ

我 的 幫 助 从 何 而 来?

(わたしのたすけは、どこから来るのだろうか。)

ワデイ パーゴ シトイエ ヤファア

我 的 幫 助

(私の助けは、)

カーヨン ダルヨゴスンジヨ

从 造 天 地 的 耶 和 华 而 来。

(天地を造られた主から来る。)(詩篇一二二編)